



令和5年度 幼児教育研修（資質向上 松山ゼミ 第4回） 「見直そう 計画と記録」

日時：令和6年1月12日（金）15:00～17:00

会場：上沼田保育園

講師：和泉短期大学 教授 松山 洋平 氏

ポスターを作ろう！



なんでポスターを作るの？

今まで自分が取り組んできた過程を
見えるようにするためです。大事なことは、
取り組みの過程を具体的に書き、
そこから得た「手応え」や「課題」を示します。



ポスター発表をしよう！



あちらこちらで

対話

が生まれています



記録と計画ってなにをするもの？

記録や計画は… 多様な異なる視点やまなざしとの出会い (=対話) の場

保育者のまなざしの深まりを支える関係構造とは…

多様な人がいることでイノベーションが生まれる



何が起きているんだろう？

問いの対象は子どもの姿

子どもに気持ちを寄せる

模索することが大事

お互いの異質さを価値のあるものと認め、受け入れる語り合い (=「対話」) の中で新たな気づきや学びが生まれてくる

記録や計画を通して対話をする

記録が変われば、対話が変わる

記録の内容が変われば、対話の内容が変わる

記録の視点が変われば、対話の視点が変わる

対話の視点が変わると計画が変わる

変化が質の向上につながる

研修生の報告者より

他園の先生方の取り組みを見させていただき、見やすく、分かりやすい記録がたくさんあった。月案・週案・お便りなど、子どものストーリーや日々のエピソードをドキュメンテーションで記録することで、さらに子ども理解しようとする記録になるということも分かった。

週案や月案の環境図について園内で検討しているので、他園の実践例を園でも紹介した。職員間で話をする中で、何を大切にすかなど共通認識をもつ機会になりよかった。学びの多いゼミだったので、参加できてよかった。この学びを今後の保育に活かしていきたい。